

その「物語」、の物語。

“ペログリ”的複眼思考の味わい vol.094

a taste of Ya'ssy

田中 康夫

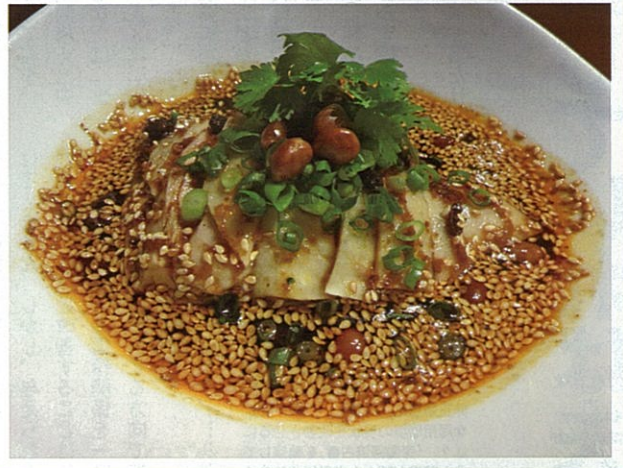


たなかやすお●56年生まれ。新党日本代表、作家。'00年より長野県知事を2期務める。'07年に参議院議員に当選、'09年8月の衆議院選挙で兵庫8区から立候補し当選、1期務める。【公式ブログ】www.nippon-dream.com/



「留学生受け入れ」という米国の端倪すべからざる「トモダチ作戦」

今週の逸品



“よだれ鶏”蒸し鶏の特製香ラー油 1400円

明治通り沿いの静謐な時空で供される料理は食後も含めて晚餐7品5250円と適価。午餐は写真のよだれ鶏、四川麻婆豆腐、黒酢酢豚の何れか1品に汁物、お替わり自由の白飯で1000円。担々麺も同額。週末・祭日には前菜2種に杏仁豆腐も加わって1500円。青山椒油風味のセロリサラダ850円、焼餃子750円、干し肉とマコモ茸、アスパラの炒め1600円、牡蠣と揚げ豆腐・春雨の四川麻辣スープ煮2000円と一品料理も魅惑的。

【中華香彩JASMINE】東京都渋谷区広尾5-22-3 広尾西川ビル1F ☎03-5421-8525 営11:30~15:00(LO14:00)、18:00~23:00(LO22:00) 無休 禁煙 <http://jasmine310.com/>

Illustration by Hajime Anzai

「ベンクラブ」は良くも悪くも「進歩的」と日本では捉えられていません。覇権主義的な心智とは対極に位置する団体として、が、アフリカをはじめとする「発展途上国」では異なるのだと教えてくれたのは、日本ベンクラブ会長経験者の1人でした。何故だか判りますが、と訊かれて戸惑っていると、米国への留学です、と呟きました。米国の奨学金を得て留学した小説家や詩人は概して、帰国後に教育や文化を担当の大臣に起用され、自国のベンクラブ会長にも就任し

ます。すると、ベンクラブの世界大会で彼らや彼女らは、乳幼児の犠牲者がバキスタンやアフガニスタンで多発する米軍無人機攻撃への抗議、といった決議の採択に難色を示すのだとか。米語というソフトパワーこそ世界最大のハードパワー。冷徹なる公理を実感します。それは、今や工業生産額も貿易輸輸出額も米国を抜いて世界最大の中国に於いても、^{米語}豈図らんや同様なのです。歴史は、20世紀初頭の清王朝時代に遡ります。山東省に端を発し

た義和団の乱を「触媒」に西太后は、八大列強の植民地支配に戦いを挑むも惨敗。終戦協定で巨額の賠償金を課せられ、清王朝は衰退。1912年に滅亡します。ロシア帝国・ドイツ帝国・大英帝国・イタリア王国・オーストリアハンガリー帝国・大日本帝国・フランスとは異なり米国は1909年、賠償金を免除し、中国人留学生を受け入れる資金へと充当。留学前の予備教育校として清華学堂を建立します。同年9月の1期生はハーバード、エール、コロン

ビア、マサチューセッツ工科と複数の大学に留学。そして清華学堂こそは清華大学の前身なのです。胡錦濤、習近平の両氏も北京大学ではなく清華大学の卒業生。数多くの中近の指導者を輩出するペイリュート・アメリカン大学も1866年に宣教師団が設立。現在もアルジャジールに資金援助するハマド・ビン・ハリーフ・アール・サニー首長のカタールのドーハにも、ビル・クリントンが卒業したジョージタウン等の6大学がキャンパスを設けます。以下は近時、中国で語られる小咄。ハーバードを始めとする米国の主要大学が留学生の父親に出席を義務付ける参観日を一斉に実施したなら、その日、中国共産党や政府の要人が居住する北京の「中南海」は「蛇の殻」となるであろうと。大半の幹部の子女は米国に留学しているからです。ウーラム、端倪すべからざる「トモダチ作戦」。経済軍事の二大強国「米中」の狭間で彷徨うニッポンは一体、如何なるトリプル・ウインウィンウィン戦略を構築し得るのでしょうか？ 暗澹たる想いに駆られたら「中華香彩JASMINE」に赴き、32歳の日本人料理長が繰り出す精緻にして大胆、且つ芳潤な料理に挑むべき。午餐は10000円からニッポンの底力に接し、空威張りでない自信を回復すること必定です。